

A アンパン道路ルート

約2.4km

所要時間/約40分

歩数/3,400~4,000歩

消費カロリー/約130kcal

[ビール350ml1缶/約140kcal]

※消費カロリーは、体重60kgの人で
普通の歩行の場合。



アンパン道路は当時の住民と軍隊の共同作業で完成しました。起伏のある地形が残る坂の多いコースです。周辺には月寒公園、豊平町役場跡など見所がたくさんあります。このコース自体はあまり長距離ではないので、平岸ぼうず山などへ足をのばしてみるのもおすすめです。

※見所ポイント A-3 と羊ヶ丘通の間は、信号機や横断歩道が無いので北側の歩道を歩きましょう。



見所ポイント

A-1 アンパン道路

月寒中央通6丁目から
平岸3条14丁目間(約2.6km)

明治44年、軍隊の助力により平岸と月寒の連絡道として完成。工事の間、従事した人々をねぎらいアンパンが配られたことからアンパン道路の名で親しまれるようになりました。



A-3 旧たぐんち

月寒西1条7丁目1-1

建築家蔵本龍彦氏的设计による第1号建造物です。昭和47年に建造されましたが、その後改築され、現在は喫茶店となっています。下見坂を使用した3階建の風貌が個性的です。



A-2 月寒小学校旧門

月寒西2条5丁目1

月寒にあった大久保レンガ工場で作られたレンガが使用されています。昭和47年まで正門として使われていました。平成30年9月に地震で左門柱が倒壊しましたが、「復旧する会」が中心となり地域の方で修復されました。



A-4 坊主山のホオノキ

平岸5条11丁目

平岸ぼうず山公園内にあります。推定樹齢100年を超え、平地に舌状に突出した標高約64mの通称坊主山台地の一角にそびえ、平岸の変遷を見守っています。



B 精進川と天神山ルート

約3.2km

所要時間/約55分

歩数/4,500~5,300歩

消費カロリー/約190kcal

[ドーナツ50g1コ/約190kcal]

※消費カロリーは、体重60kgの人で普通の歩行の場合。



中の島小学校に隣接する豊中公園から精進川沿いを上り、標高85メートルの天神山に至るやや高低差のある自然豊かなコースです。山頂から眺める藻岩山麓や市内中心部まで広がる景色は壮観です。天神山緑地内は石川啄木をはじめとする文学碑や梅園、日本庭園もあり、落ち着いた散策が楽しめます。緑地は、地下鉄澄川駅まで10分、南平岸駅まで15分の距離です。



見所ポイント

B-1 中の島神社

中の島2条3丁目7-35

明治10年頃、開拓者が地域の鎮守のために中の島1条2丁目に奉納したことに始まりました。大正初期に現在の場所に移されました。いつも丁寧に掃き清められた境内の本殿前には、しめ縄のなかったハルニレの御神木が堂々と立っています。



B-2 精進川と精進河畔公園

平岸1条16・17・20丁目ほか

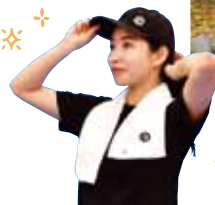
定山溪鉄道が開通するまで木材搬送に使われていました。昭和7年に豊平川合流地点がせき止められましたが、多自然型河川工法で現在の潤いある空間に生まれ変わりました。公園内にある藤の花棚が見事です。



B-3 精進川の滝

平岸1条17丁目9

精進河畔公園の南端にあり、落差は約2mと小さな滝です。住宅地の近くにあり、手軽に来れるのが魅力です。



B-4 相馬神社

平岸2条18丁目1

平岸開村五拾年記念碑・馬頭観音碑のほか、樹齢300年以上のクリの御神木がみごとです。



C 豊平公園とリンゴ並木ルート

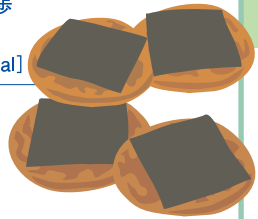
約5.4km 所要時間/約1時間30分

歩数/7,700~9,000歩

消費カロリー/約300kcal

[煎餅厚焼き4枚81g/約300kcal]

※消費カロリーは、体重60kgの人で
普通の歩行の場合。



学園前駅から美園駅を結び、つきさつが郷土資料館まわりで月寒公園に至る距離のあるコースです。道民のスポーツの拠点である「北海きたえーる」や農林水産省の林業試験場跡地に作られたみどり豊かな豊平公園、区のシンボルとなったリンゴ並木と見どころが盛りだくさんです。体力と興味の対象、そして季節にあわせてコースを設定して楽しむことができます。



見所ポイント

C-1 豊平公園

豊平5条13丁目ほか

園内には、緑のセンター、花壇・針葉樹見本園・花木園・野草園などの庭園、テニスコート、温水プールがあります。緑のセンターでは四季折々の植物を楽しむほか、展示会や講習会を行っています。また、植物などの相談コーナーや植物に関する書籍を閲覧できる図書コーナーもあります。



C-2 環状通のリンゴ並木

区役所～国道36号

平岸発展の基礎となったリンゴ園にちなみ、昭和49年、環状通のグリーンベルト約1キロにリンゴの木が植えられました。5月の開花と秋の結実の景観は見事です。

C-3 リンゴ並木の碑

美園11条7丁目

リンゴ並木と月寒公園をつなぐ「月寒公園ふれあい通り」の入り口に建つ碑は、昭和60年に地元有志により建てられました。



D 吉田川公園と八紘学園のポプラ並木ルート

約4.1km 所要時間/約1時間10分

歩数/5,800~6,800歩

消費カロリー/約230kcal

[かりんとう10本50g/約210kcal]

※消費カロリーは、体重60kgの人で普通の歩行の場合。



吉田川は吉田牧場内を流れていた川で、現在は清田区との境になっています。しらかば台の名がついているとおり、しらかば台球場と白樺林、東月寒通両側の歩道約1.6kmにわたって植えられた白樺並木と白樺会館のサイロは美しい景観となっております。散歩道としても親しまれています。八紘学園のポプラ並木も牧歌的な景観で、広大な大地と空が北海道の雄大さを物語っています。



見所ポイント

D-1 吉田川公園

月寒東3条19丁目

河岸段丘とコナラ自然林が残る園内には、テニスや野球、パークゴルフなどの施設もあります。向かいには豊平区体育館があり、スポーツの拠点としても親しまれています。



D-2 東月寒(ツキサップ)白樺会館

月寒東4条18丁目7

昭和初期から東月寒一帯で酪農業を営んでいた、故黒澤和男氏の営む牧場の移転に伴い、昭和45年に町内会に寄付された牧舎とサイロ。現在は地域の会館として利用されており、東月寒緑地内に彼の胸像が建てられています。(敷地内にある大きな栗の木は、秋になると子ども達が競って実を収穫するなどシンボルとなっています)



D-3 ツキサップじんぎすかんクラブ

月寒東3条11丁目

「八紘学園」の創立者である栗林元二郎氏が、満州から野戦料理であるジンギスカンを北海道に持ち帰ったことが発祥のルーツと言われています。北海道の移りゆく季節と見わたす限りの自然と出会う雄大な風景はおいしさのひとつです。



D-4 八紘学園

月寒東2条13丁目から

昭和初期に農業経営者の育成を目的として創設された八紘学園。園内には、開校当時の石造りのサイロ、めん羊舎、洋館(現栗林記念館)などの建物が現在も保存されています。

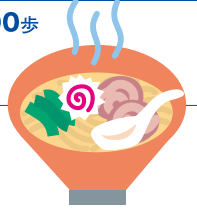


約7.6km 所要時間/約2時間10分

歩数/11,000~12,600歩

消費カロリー/約430kcal

[ラーメン1杯/約420kcal]

※消費カロリーは、体重60kgの人で
普通の歩行の場合。

地下鉄福住駅を起終点として、月寒川とウラウチナイ川の間に広がる範囲をめぐる距離のあるコースです。途中、住宅地のガーデニングや札幌ハリストス正教会を見ることができます。さらに、森林総合研究所まで足を延ばすと、野鳥の声やみどりにあふれた自然環境も味わうことができます。



見所ポイント

E-1 札幌ハリストス正教会

福住2条2丁目3-1

昭和11年に現在の中央区南7条東1丁目に建設された後、札幌オリンピック開催に伴う道路工事のため、昭和46年に現在の場所に移されたロシア正教の教会で、市内唯一のビザンチン様式の建築です。



E-2 福住小川公園

福住2条2丁目

春は桜・秋は紅葉等、四季折々を楽しめる公園。木造の遊具もあり、小さな子どもからお年よりまでの憩いの場となっています。



E-3 標本館

森林総合研究所北海道支所

森林、林業、木材産業に関する標本や研究成果などを広く伝えるために一般公開されています。周囲には道産・外国産樹種の樹木園が整備されています。

休館日:土日・祝・年末年始



E-4 羊ヶ丘展望台

羊ヶ丘

クラーク像と草をはむ羊たちの姿、その向こうの札幌の街並み、さらに遠くには山々が連なる広々とした景観は、札幌らしさの象徴となっています。入園は有料です。



寄り道情報

大和ハウスプレミストドーム

羊ヶ丘1

地下鉄福住駅より徒歩10分のところにある全天候型多目的ドーム。モダンな景観として国内に広く知られています。ドーム内の展望台からは、札幌の街並みが一望できます。ドーム周辺はウォーキングコースとしても最適です。



F 水車町・旭町から旧豊平町を巡るルート

約4.4km 所要時間/約1時間15分

歩数/6,300~7,300歩

消費カロリー/約250kcal

[ショートケーキ80g1コ/約250kcal]

※消費カロリーは、体重60kgの人で普通の歩行の場合。



豊平の発祥の地から、かつて精米のために水車が回っていた水車町を巡り、北海きたえーるを横目に見ながら、豊平町役場跡や定山溪鉄道跡など昔なつかしい跡地をめぐるコースです。



見所ポイント

F-1 志村鐵一 ゆかりの地

豊平4条1丁目

志村鐵一は安政4年(1857)頃に幕府より豊平右岸の渡船場の渡り守を命じられました。札幌市内はじめての和人の一人としてこの地に居住し、明治4年に豊平橋がかかるまでの間、専ら渡船が活躍していました。豊平の発祥の地とも言えます。



F-3 旭小学校内の水車

水車町3丁目

水車川自転車道はかつて、精米などを行うために水車が回る川です。



F-2 水車町公園

水車町1丁目

ハーブなどの花壇やベンチのある明るい公園スペースは、水車川自転車道の入り口に位置しています。菊水旭山公園通を渡り、旭小学校横を経由し、5丁目付近までつながっています。



F-4 豊平町役場跡

豊平4条6丁目1-2

北海道開拓使が設置され、本州から多くの移民が入植して、明治5年には平岸村・月寒村が明治7年には豊平村が誕生しました。明治35年に3村が合併し、豊平村(明治41年に豊平町に昇格)となり、明治43年に札幌区と合併になるまで、この地に町役場が置かれていました。



G 西岡坂めぐり・水源池通ルート

自然そのままの西岡水源池と、バラエティにとんだ坂を楽しむことのできる少々ハードなルートです(見返り坂は体験の価値あり)。水源池はバードウォッチングをはじめ、トンボやホタルの生息地として環境省指定「ふるさと生きものの里」にも指定されています。豊平区が誇る自然ふれあい活動のフィールドの代表です。

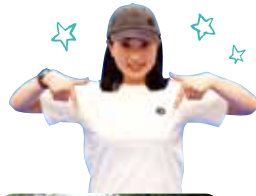
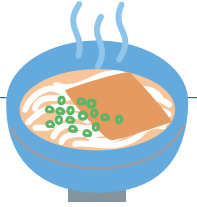
約**4.6km** 所要時間/約**1時間20分**

歩数/6,600~7,700歩

消費カロリー/約**340kcal**

[きつねうどん1杯/約360kcal]

※消費カロリーは、体重60kgの人で平地ハイキングの場合。



見所ポイント



G-1 西岡八幡宮

西岡4条8丁目7

西岡八幡宮の起りには、明治20年代に入植した森金蔵氏が、出身地の兵庫県から御分霊を自分の敷地であったこの地にほこらを建てたことに始まります。明治26年現在地に転移しました。

G-2 見返り坂

西岡1条10~11丁目

登りながら、思わず「どこまで登ったか」と振り返って確認したくなる急な坂ということで名付けられました。

G-3 油沢の坂

西岡3条13~4条13丁目

この地帯には油が染み出していたことから名付けられました。染み出した油は馬車の潤滑油として使われました。

G-4 西岡公園

西岡544番地ほか

水源池と取水塔

旧水源池は、月寒の歩兵第25連隊の軍施設に給水する、市内で最初の上水道である「月寒水道」の水道貯水池として使われていました。豊かな自然が残り、野鳥やホタルなどさまざまな動植物が四季を通じて散策にくる人の目を楽しませてくれます。



不動明王

水源池の堤防を守るためにまつられたもので、昭和20年頃まで祭事が行われていました。堤防から橋を渡り階段を登ると木立の前に小さな社が建っており、今もお供えが絶えません。

八橋周辺(トンボとホタルの生息地)

公園入口の駐車場のそばに広がる芝生スペースは、月寒川のせせらぎを聞きながらお弁当を広げるには手軽な場所です。川にかかった八橋付近では水遊びを楽しむことができます。



寄り道情報 西岡中央公園

西岡1条7丁目

大学の坂に隣接している、白樺林などの自然が楽しめる公園です。また、パークゴルフ・テニスのできる施設があります。



H 月寒・平和公園ルート

約3.0km

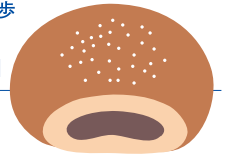
所要時間/約55分

歩数/4,300~5,000歩

消費カロリー/約180kcal

[あんぱん70g1コ/約180kcal]

※消費カロリーは、体重60kgの人で普通の歩行の場合。



つきさつぷ郷土資料館からポプラ並木沿いにスタートし、水源池通・アンパン道路を
通って、月寒地区を一周するコースです。コース沿いには、月寒アンパンの製造会社
や、旧月寒駅跡などがみられます。



見所ポイント

H-1 ポプラ並木群

月寒東2条2丁目4

北部軍司令部の司令官邸
周辺の樹木は、地域の人た
ちが提供し、植えられた苗
木が育ったものです。現資
料館の建物とのコントラス
トがまさに美しい景観を生み
出しています。



H-2 平和公園

月寒西2条7丁目

昭和9年に歩兵第25連隊(月
寒連隊)により、忠霊塔が建
立されました。北部軍司令
部の門柱は、戦後平和公園に
移設され、平和を記念し公園
整備がなされました。毎年9
月中旬には慰霊祭が行われます。



寄り道 情報

つきさつぷ郷土資料館

月寒東2条2丁目

昭和15年に編成された北部軍司令部の司
令官邸として建設されました。その後北
大学生寮を経て、現在は郷土資料館として地
域住民に親しまれています。(開館日/4月
~11月の毎週水・土曜日/10:00~16:00)



H-3 洋次通り

月寒中央通5丁目

行き交う人の肩が触れ合はんばかりの小路に、
半世紀前の雰囲気を残した建物が並ぶ。山
田洋次監督が「庶民の町の情景がここにある」
と絶賛し、ドラマのロケ地に選んだ場所です。



H-4 営門の松

月寒中央通5丁目2

明治29年、独立歩兵大隊が置かれた後に歩兵第25
連隊に改編されました。この兵営正門(営門)前に植
えられた2株の松の1つが今も残っています。この門か
ら多くの兵士が出征、凱旋するのを見守った松です。



豊平川河畔ルート

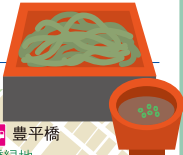
約4.6km

所要時間/約1時間20分

歩数/6,600~7,700歩

消費カロリー/約260kcal [ざるそば1杯/約260kcal]

※消費カロリーは、体重60kgの人で普通の歩行の場合。



ゆったりと流れる川に沿って広がる豊平川緑地は、都会の中にありながらも大空を見上げながら歩くことができる健康的なコースです。緑地は、両岸および上下流ともに伸び、豊平区内に7つの橋が渡されているため、変化のあるコースを自由にとることが可能です。しかし、山をバックにした眺めを楽しめるのは、やはり右岸側の豊平区の財産です。



見所ポイント

I-1 幌平橋

昭和2年に河合才一郎が私費4万円あまりを投じて架設したのがはじまり。現在の姿になったのは平成7年。下流側のポर्टランド広場には、印象的なアーチがかかっています。



I-2 ミュンヘン大橋

平成3年にミュンヘン市との姉妹都市提携15周年を記念して開通。斜めに張られたワイヤーで強度を保つ斜張橋様式が美しく、平成5年に札幌市都市景観賞を受賞しました。



I-3 ウォーターガーデン

南28条～30条西8丁目

南区側の山鼻川との合流地点には、小さな子供たちも安心して水遊びが楽しめる園地が整備されています。



I-4 スズラン群生地

南19条大橋

南19条大橋下流左岸には河畔林が残り、札幌市の花スズランの群生が見られます。かつては市内で良く見られた花ですが、ここに植えられているのはドイツスズランです。



スポーツ施設

豊平川河畔

芝生や花壇のほか、パークゴルフ場、サイクリング園路、野球、サッカー、テニスなどのスポーツ施設も整い、青空の下でさまざまな健康づくり活動が楽しめます。



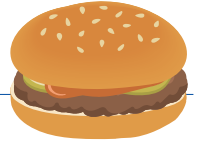
J 東京2020マラソンコースを巡るルート

約5.5km 所要時間/約1時間45分

歩数/7,800~9,100歩

消費カロリー/約300kcal

[ハンバーガー1コ/約300kcal]



※消費カロリーは、体重60kgの人で普通の歩行の場合。

幌平橋からスタートし、中の島通、白石・藻岩通、平岸通を通過、豊平区内の東京2020オリンピックのマラソンコースを巡るルートです。10kmタイム計測地点付近には、ブロンズ製の記念銘板が埋め込まれています。



見所ポイント

J-1 地下鉄南北線シェルター

豊平区平岸4条10丁目付近

一部区間で高架方式が採用されている地下鉄南北線。地上部分を走る地下鉄は、冬の積雪から守るために、シェルターで覆われています。真駒内方面に向かう途中、平岸駅を過ぎると現れるこの竜の背のような風景は、全国的にも珍しい札幌の地下鉄の特徴になっています。



J-2 マラソン10km地点銘板



豊平区平岸2条2丁目歩道

マラソンコースの沿道に設置されたブロンズ製の記念銘板(=プレート)。10kmのタイム計測地点付近に埋め込まれました。

J-3 旧中井家リンゴ倉庫

平岸3条2丁目2-1

昭和初期まで地区の主要産業として盛んに栽培されていたりんごの保管用倉庫として使われていました。現在は、地元商店街の事務所と、太鼓道場として地域の人々に活用されています。今も残されるこの倉庫は、りんご園が広がっていた地域の歴史を伝える貴重な存在です。

